

第621回6月度大会

開催日：平成28年6月25日(土曜日)

場所：京都府舞鶴市青井 マル拓渡船 代表者 藤川拓児 船長 090-1904-1620

集合場所：上記マル拓渡船乗り場

集合時間：4時00分、出船時間：5時00分、納竿時間：15時00分

レポート：田邊文雄

今回の釣り場は日本海、舞鶴市青井のマル拓渡船です。最近このマル拓渡船さんにお世話になることが多くなっていますが何故か私にとっては本命のチヌとの出会いはありません。ましてや今は梅雨の季節に入っており前日の夜には大阪市では1時間に35mm降ったとか。また今晚出かける前の天気予報では雨の確率は明日午前中20%、午後30%との予報が出ていました。あとは風と河川の増水による潮の影響です。

今回も松元会長に迎えに来てもらいお世話になります。22時過ぎ出発、サワムラ、マックスと餌屋さんにより餌を調達そして中国道から舞鶴道へと車は走ります。西紀S・Aで小休憩。雨も次第に強く降っています。西紀を出て暫らくすると雨も本格的に降ってきて速度規制が50kmと出ています。急ぐこともないので速度制限を守って走ります。

舞鶴西ICで降りウスイによりそしてマル拓渡船に到着。その頃には雨も小康状態になっており風もありません。

ひと安心したところで仮眠です。

今日の参加者は5名、いつものように筏に乗る順番のくじ引きです。今日は釣り人が少ないせいか一人1台とのこと。私は2番クジを引き2番目に降りる。雨も降ってないが雲は深くたれています。サー釣り用の意をしようと思い竿袋を探しますがありません。船に積んだはずなのに。仕方なく団子の準備をしながら次の船を待ち無事竿は届きました。

海は風もなく穏やかです。雨による濁りもありません。時折小さいクラゲが何処にいたのか集団で移動してきます。本日用意した餌はオキアミ、ボケ、丸貝のみです。

釣り始めて1時間半ぐらいいは何の当りもありません。岸向き側に釣り座を取り左隣の筏には西山さんです。

何か当りはあるかと尋ねるもありません！・・・暫らくするとアジが回ってきましたよとのこと、私の方の生態系は上層ではクラゲ、いわしの子供が表面を泳いでいます。底にはまるまる太った海毛虫がボケを飲み込んでいます。

団子はオキアミを混ぜていますが冷凍のアミエビが溶けたので追加して落とし込みます。

暫らくすると竿先は賑やかになります。アジ、ヒイラギです。また底からは気泡がポコポコと湧いてきます。ボラ、コノシロ何でしょう？しかし、団子を突つくと訳でもなし、釣れるでもなしわかりません。中にはボケ餌にアジがくわえて上がって来るしまつです。アミエビの威力はすごいものですね。きっと底では争奪戦が始まっているでしょう。

そんな中で、ボケ餌で明確な当たりが出ました。合わせるとチヌだとわかります。30cm前後です。時間は7時半くらいです。しかし、単発です。その後アジ、ヒイラギが相変わらず賑やかに場を盛り立ててくれ9時頃に同じくボケ餌で30cm位を追加しました。そして今度は12時少し前にオキアミでアジと遊んでいるとクウツ押さえ込む当りこれが3匹目の最後のチヌでした。

今日の青井の筏は私にとって釣れない鬼門の場所と思っていましたがこれを払拭できた楽しい釣りでした。

参加された皆さんお疲れ様でした。

参加者

松元会長、秋山副会長、金物氏、西山氏、田邊 計5名

釣果 長寸優勝：松元会長 29.0cm 1匹

匹数優勝：田邊 3匹 (31.5cm、30.2cm、26.5cm)

天候 曇り、時々小雨 微風